市販ソフトウェア製品のご紹介

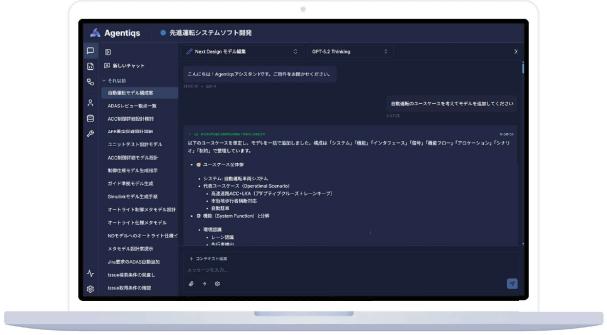
工程横断でエンジニアを支援するＡＩエージェントプラットフォーム

DC Agentiqs

Next Designはシステムとソフトウェア開発のための次世代設計ツールです。
各工程の設計情報の構造と関連を定義した「メタモデル」と、それを表現するための図・文書表現である「ビュー定義」を開発現場の観点・用途に合わることで専用の設計ツールにできます。

POINT
- 現場に蓄積されたノウハウや設計内容をAIが瞬時に理解
- ソフト開発で利用するツールと連携し、設計成果物をAIが作成
- 膨大な入力でもAIが正確に解釈し、抜け漏れない安定した成果を出力
- 個人のAIノウハウをチームで共有し、チーム全体の生産性を劇的に向上

2ページ～



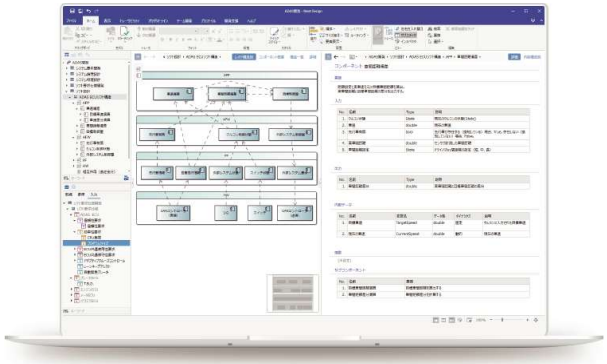
設計データのデジタル化を実現する次世代設計ツール

NEXT DESIGN

Next Designはシステムとソフトウェア開発のための次世代設計ツールです。
各工程の設計情報の構造と関連を定義した「メタモデル」と、それを表現するための図・文書表現である「ビュー定義」を開発現場の観点・用途に合わることで専用の設計ツールにできます。

POINT
- 開発プロセスの設計情報をそのままツールで表現
- モデリングツールに文書・トレーサビリティ機能を融合
- プロダクトライン開発支援機能を搭載
- エクステンションで自由に拡張

6ページ～



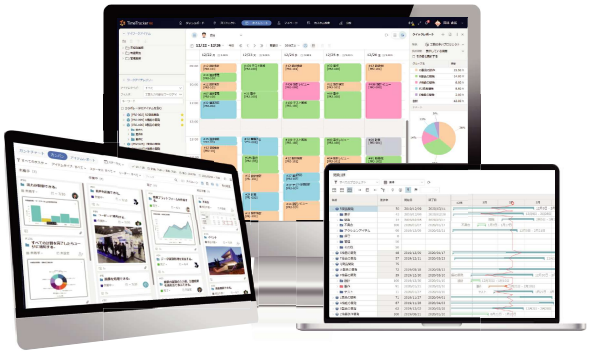
工数管理・プロジェクト統合管理ツール

TimeTracker RX

TimeTracker RXは、「現場の活動を支援する」をコンセプトにした工数管理・プロジェクト管理ツールです。
デンソークリエイトが業務の可視化と改善のために継続してきた、工数計測のノウハウから生まれました。

POINT
- １分でできる工数入力
- 現場の試行錯誤が生んだプロジェクト管理
- データを改善活動に活用する

11ページ～



DENSO
Crafting the Core

株式会社デンソークリエイト

DC Agentiqs

工程横断でエンジニアを支援するAIエージェントプラットフォーム

株式会社デンソークリエイト DC Agentiqs 営業窓口

詳細は営業窓口までお問合わせください。 agsales@denso-create.jp

製品サイト

https://www.agentiqs.app/

DENSO
Crafting the Core

DC Agentiqs

開発の全工程を、AIが一気通貫で支援。

要求〜設計・実装・テストまで工程横断でエンジニアを支援するAIエージェントプラットフォーム

AIがもっと人間のエンジニアのように振る舞ってくれたら…と思ったことはありませんか？

AI開発に悩むソフトウェア開発現場の課題

スピードと品質の両立が求められるソフトウェア開発の現場。
AIによる効率化への期待が高まる一方で、「どのように活用すればよいか分からない」という課題も多くの現場で生じています。

現場適応性
現場ツールを AI が
直接操作できず人手が介在

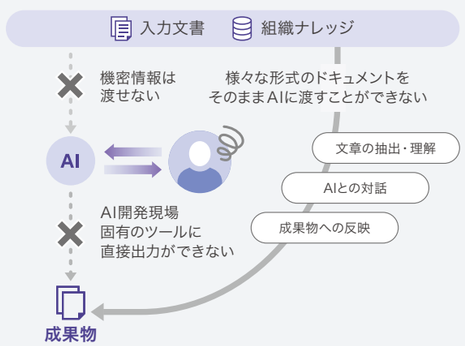
信頼性
AI から期待した
回答を得られない

運用性
AI スキルに差があり
チーム活用が進まない

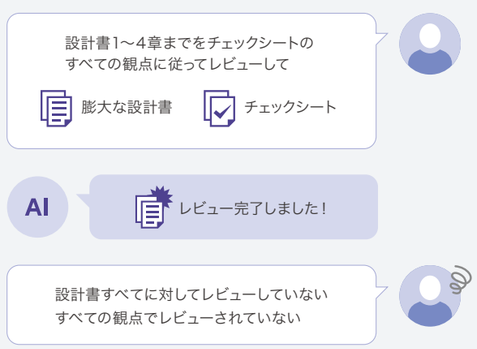
理想と現実のジレンマ

「結局、人力の方が早い」ー そんな現場の壁を超えるには、
現場の知見に寄り添い、安全で誰でも使えるAIエージェントプラットフォームが必要です。

汎用AIでは「人の介在」が多く必要になる



AIの回答が不安定で抜け漏れも多い



DC Agentiqs が課題を解決！

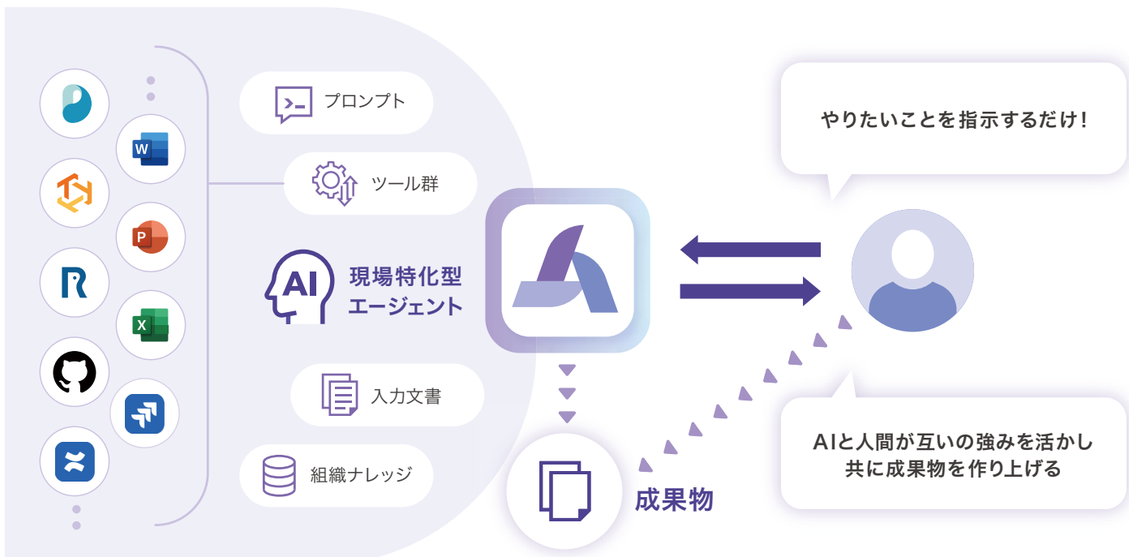
AIエンジニアと共創しながら開発する世界を、誰でも簡単に

ソフトウェア開発現場ごとに異なる課題やプロセスの壁に、AIが柔軟に寄り添う。
DC Agentiqsは、エンジニアが「本当に使える」形で支援する現場発想のAIエージェントプラットフォームです。

現場適応性
様々なプロセス・ツールに対応する
専用のAIエージェントが解決。
しかも、ノーコードで作成。

信頼性
AI×ルールで、抜け漏れのない
確実な成果を実現。

運用性
組織全体のAI活用を効率化する共有機能
を持つエンタープライズ向けの設計。



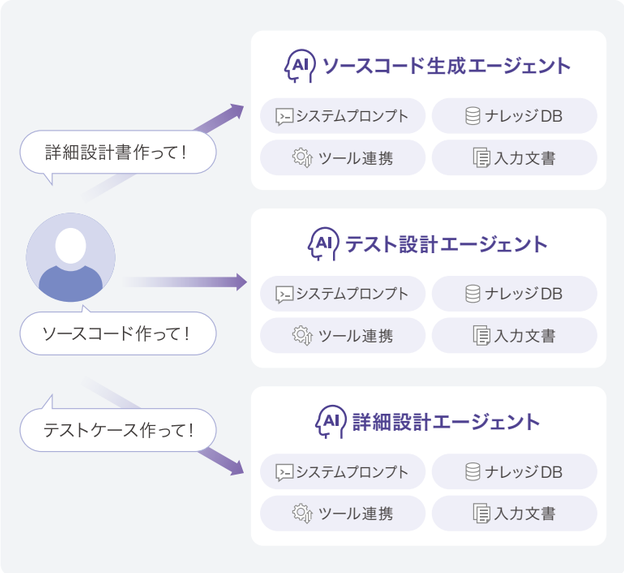
“現場のリアル”に寄り添う 本当に使える開発パートナー

DC Agentiqsは「現場で本当に使えるAI」を目指して生まれたツールです。
多くの開発現場でAI導入が進まない理由は、AIが現場固有のノウハウやプロセスに対応できないから。
DC Agentiqsの「現場特化型エージェント」は、
現場の知識・ツール・プロセスを理解し、要求～設計～実装～テストまで一貫したサポートを実現します。

point 01 現場適応性◎

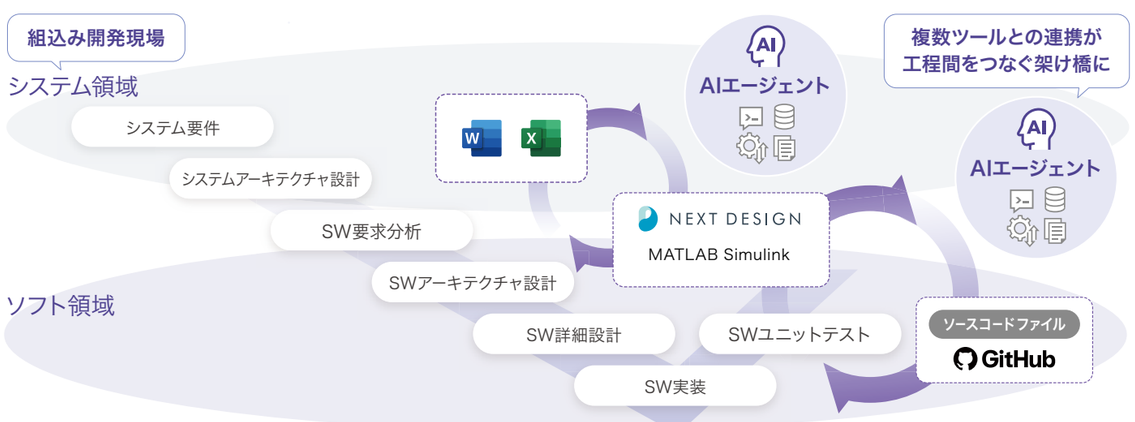
『ノーコード』で作成した専用のAIエージェントで組織、ツールの違いを解消

✦ 専用のAIエージェントで、様々なプロセス・ツールに対応



✦ 開発現場固有のツールとシームレスに連携

専用エージェント が 工程横断 で成果物を作成

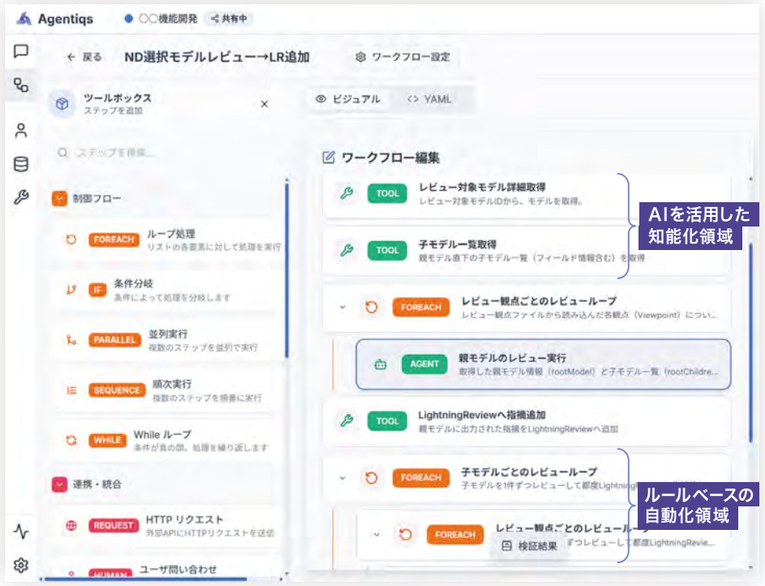


point 02 信頼性◎

AI×ルールで、抜け漏れのない確実な成果を実現

✦ ワークフロー機能で、『精度が高いロジック』の安定性と『AI』の柔軟性を両立

大量のレビュー観点や、数百ページの入力文書からの出力も、AIが抜け漏れなく完遂。



point 03 運用性◎

エンタープライズ向けの設計：組織・チームで全体のAI活用を促進

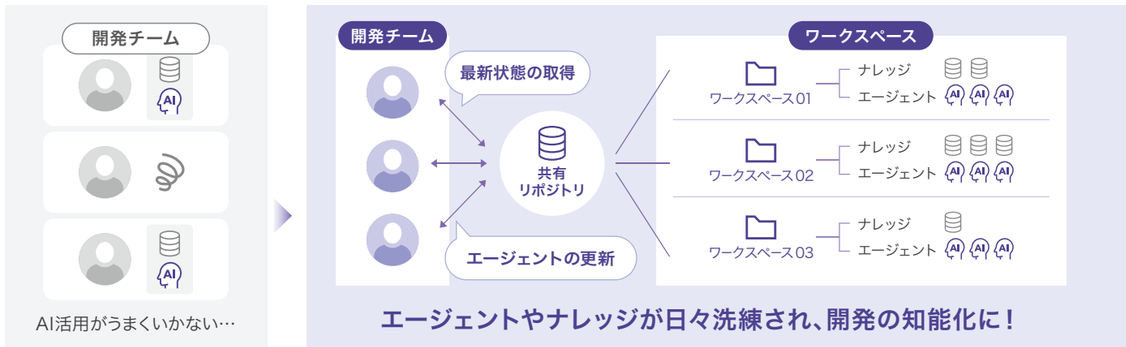
✦ ワークスペース機能で、個人ベースのナレッジを組織・チーム全体で共有

属人化・細分化

現場で培われた優れたエージェントや
蓄積されたナレッジが個人のものに

共有ベース

エージェントやナレッジが「個人のもの」から「全員の標準」へ
チーム全員の、開発効率化UP！



エージェントやナレッジが日々洗練され、開発の知能化に！

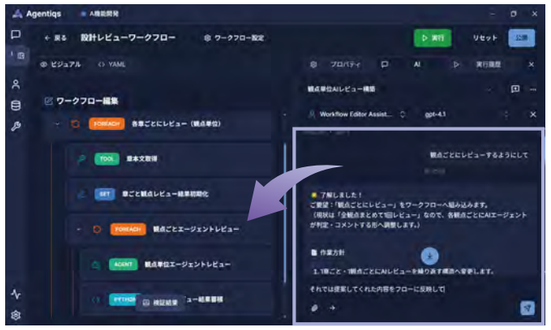
その他の特徴

文書構造を理解する 高精度RAGによるナレッジ活用

DC Agentiqs は、サーバーレスで RAG 構築が可能であり、設計書・仕様書・API ドキュメントなどの章や節、ソースコードをメソッドなどの意味単位で理解して、必要な情報だけを正確に抽出し回答します。「2.2 節だけ知りたい」といった指定にも、前後の情報の混入や抜け落ちを防ぎ、必要な箇所を正確に抽出します。ノイズの少ない正確な検索で、レビューやテスト設計、変更の影響範囲分析など、ソフトウェア開発の現場利用に適した高精度 RAG をご活用いただけます。

AIによる AIエージェント、ワークフロー作成支援

DC Agentiqs では、AI エージェントやワークフローを AI によって作成できます。AI に作業目的、内容、プロセスを明確に伝えるだけで、より良いプロンプト、作業フロー、ツールとの連携、ナレッジ活用を AI が自律的に考え、最適な AI 活用環境を構築します。



AIに任せすぎない、確認前提の仕組み

DC Agentiqsでは、チャット機能、ワークフロー機能ともに、HITL (Human In the Loop) という機能が搭載されています。人が関与する問い合わせ・承認フローを組み込むことで、AIによる勝手な更新や誤編集を防止します。これによりAIの処理結果を人がコントロールできるため、重要な判断や更新業務にも安全に適用できます。

会話の目的、内容を失わない長期記憶

DC Agentiqsは、チャット機能に独自の長期記憶の仕組みを搭載しております。
これにより設計工程などでAIエージェントと長く壁打ちしても、途中で現在の目的を見失ったり、詳細な内容を忘れたりすることなく、自然に会話を続けられます。

セキュアな環境でAI活用

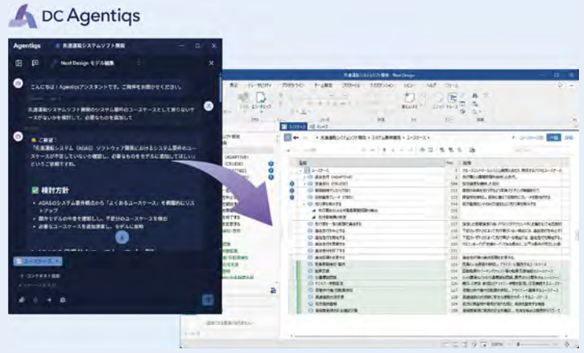
現場でAI導入のハードルになりがちな機密情報の扱い。
DC Agentiqsは、セキュアなLLMを選択して利用できるため、情報漏洩リスクを抑えた安全な運用が可能です。

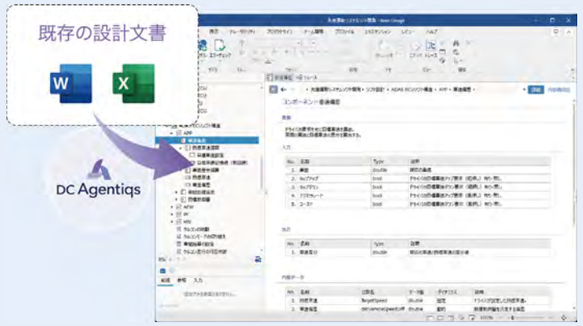
DC Agentiqsにより進化するデンソークリエイト製品

次世代設計ツール NEXT DESIGN

要求仕様からテスト設計まで AIが工程横断で支援

専門知識が必要なメタモデルをAIが生成。
さらにメタモデルに従って、AIが設計成果物も自動で生成します。





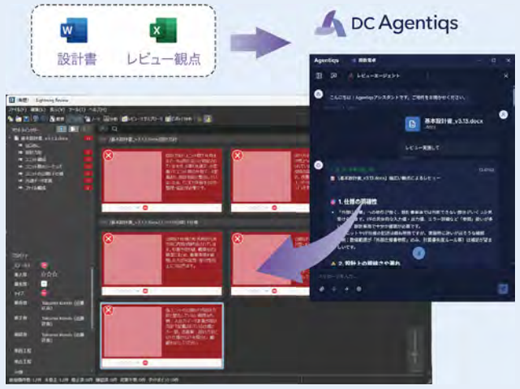
膨大な数の既存設計文書を AIで瞬時に移行

Word / Excel / PDF形式の既存設計文書をAIがNext Designにインポート。
既存資産のデジタル化を支援します。

設計レビュー支援ツール Lightning Review

各組織の観点でAIが自動レビュー

過去の知見、レビュー指摘より作られたレビュー観点に従って、対象成果物をレビューします。



工数・プロジェクト管理ツール TimeTracker RX

AIがプロジェクトの 停滞やリスクを察知し、計画調整

蓄積された実績データを元に、リスクを通知。
リソースや日程を含めて最適な計画を提案します。

システム・ソフトウェア設計ツール

NEXT DESIGN

DENSO
Crafting the Core

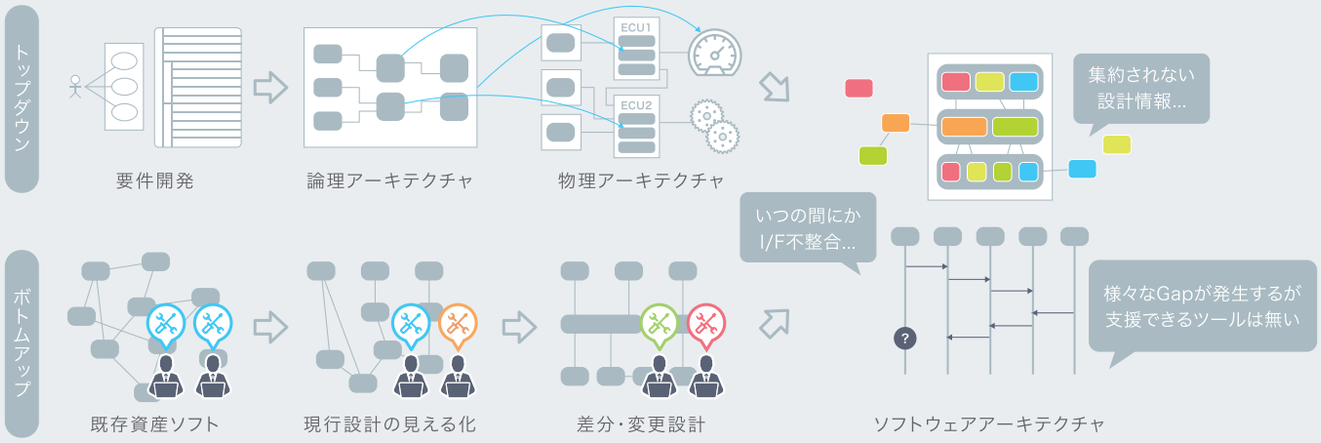
NEXT DESIGN

システム・ソフトウェア設計ツール

大規模システム・ソフトウェア開発が抱える課題

サービスの高度化によって、システムやソフトウェアは大規模化・複雑化が進んでいます。
これに伴って会社・部署を跨いで複数のチームが並行して開発を行っています。

並行・分散で進める大規模な開発では要求分析から始めるトップダウン開発のアプローチだけではなく、
既存資産を活かせるように進めるボトムアップ開発のアプローチが不可欠であり、現場で人が両立させています。



ツールを現場のプロセスに合わせるというアプローチ

Next Design はシステムとソフトウェア開発のための次世代設計ツールです。
各工程の設計情報の構造と関連を定義した「メタモデル」と、それを表現するための図・文書表現である「ビュー定義」を
開発現場の観点・用途に合わることで専用の設計ツールにできます。

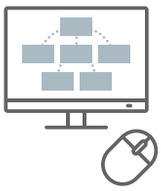
従来方式

文書

記載自由度の高い紙

UMLエディタ

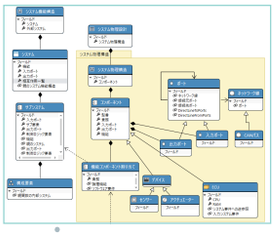
設計の見える化を
支援するツール



設計情報のデータベース（デジタル化）

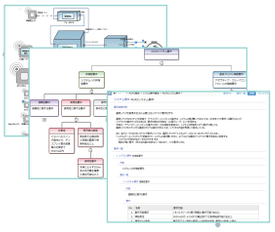
NEXT DESIGN 現場に合わせる専用の設計ツール

メタモデル 開発の特徴



＋

ビュー 成果物の見た目

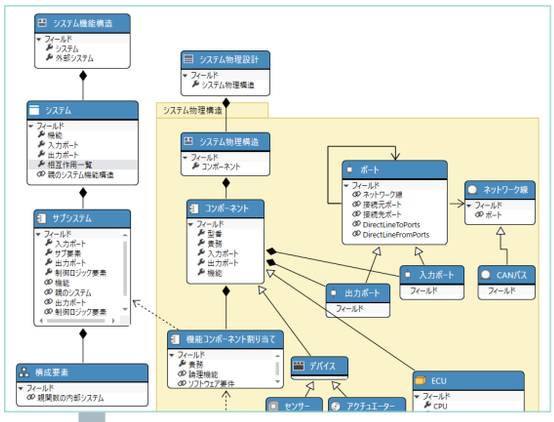


高いカスタマイズ性

ノンプログラミングで専用の設計ツールに

メタモデルで開発の特徴を定義

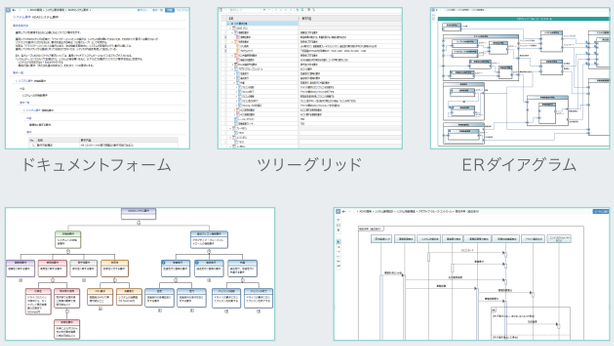
各工程の要件や設計情報の構造と関連を
クラス図で定義。製品ごとに異なるアーキテクチャや
設計プロセスを具現化します。



ビューで成果物の見た目を定義

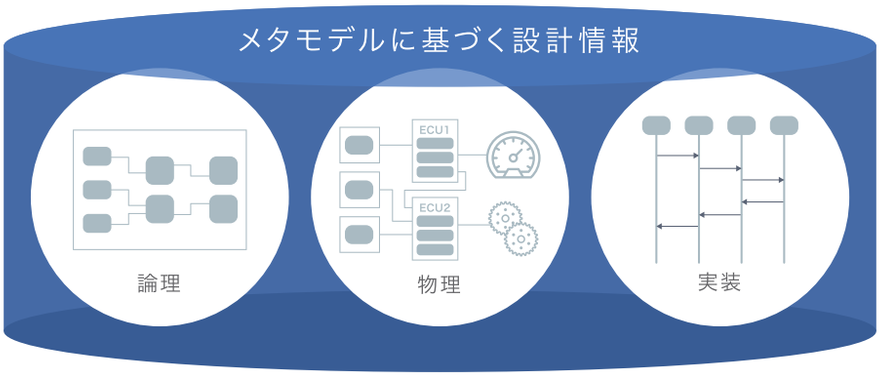
特許 第6847382号

設計の観点や成果物の用途に合わせて定義。
Word ライクな文書表示から Excel のようなグリッド、ダイアグラムまで同じ設計データを多彩な表現に切り替えることができます。



デジタル化

メタモデルで設計のデジタル化を促進

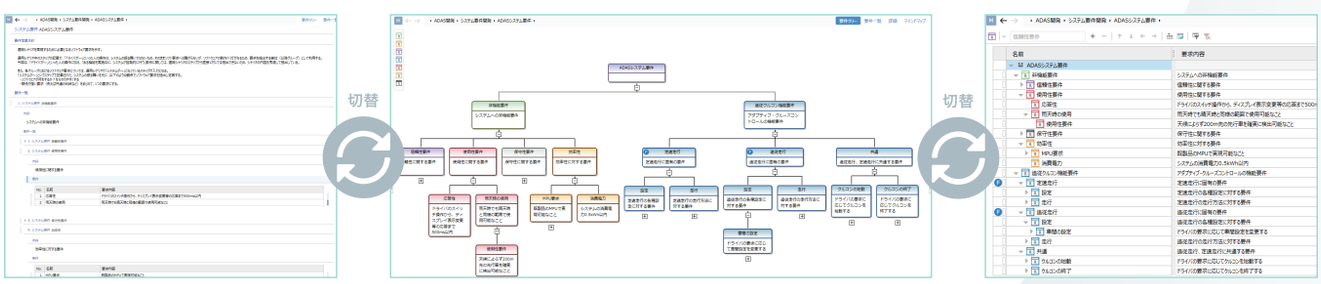


一元化

システム設計からソフトウェア設計までの
設計情報のデータベース化を支援

メタモデルとビューで専用ツールに

現場の強みを活かしつつ、開発の実情に合う設計ツールになります。



変更は他のビューも追従

設計者が設計内容を変更すれば、関連するすべてのビューに自動で反映されます。
設計データは常に最新になり更新漏れの心配がありません。

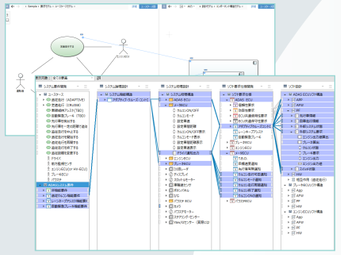
NEXT DESIGN

設計をサポートする様々な機能

設計しながらトレーサビリティを記録

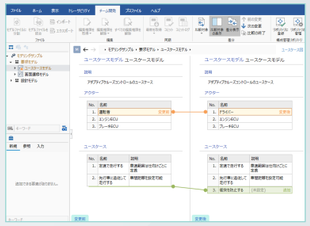
設計情報間の関連がそのままトレーサビリティになります。
逐次確認できるため変更による影響範囲を分析しながら設計ができます。

特許 第6847382号



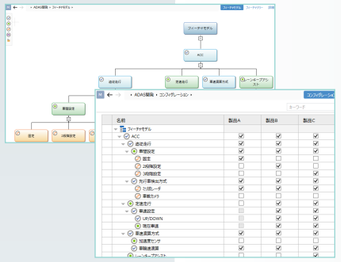
変更差分の確認

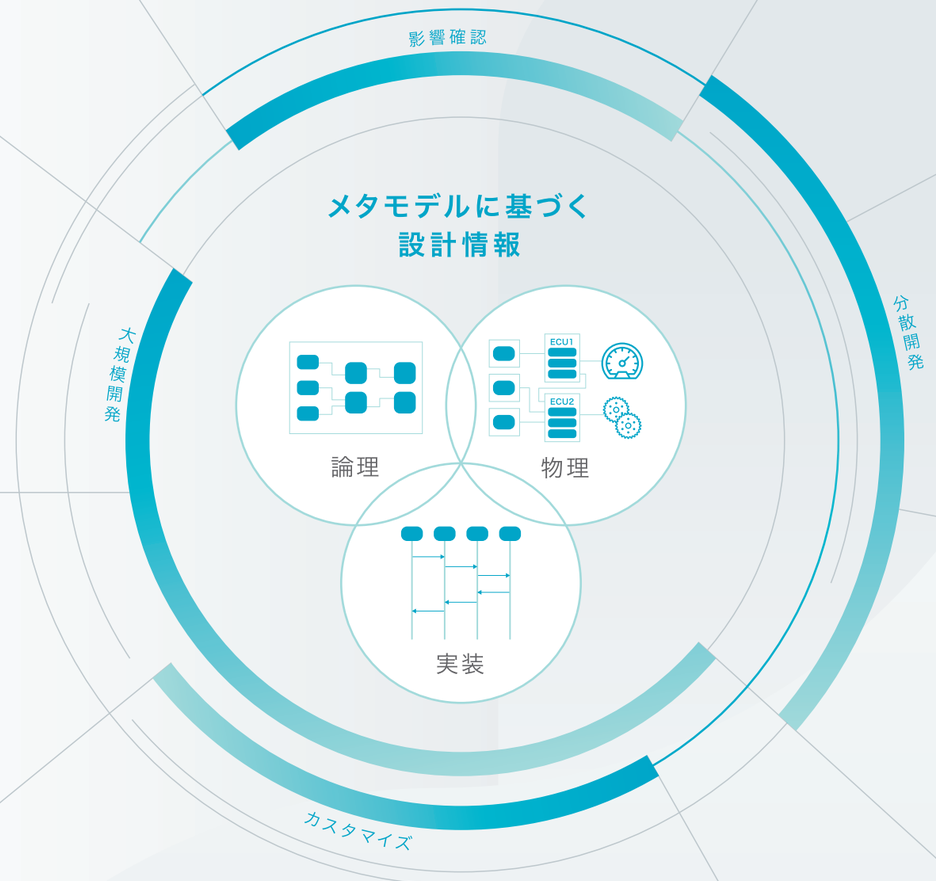
過去のプロジェクトやリビジョンとの差分を比較し、変更箇所を特定できます。



プロダクトライン開発をサポート

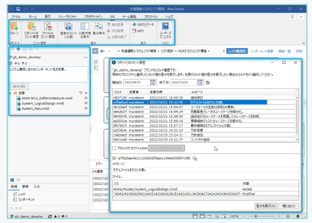
「プロダクトライン」を設計ツールとして搭載。専用ソフト不要で複数製品の設計を実現できます。
プロダクト適用後の設計情報は個別にエクスポートできます。





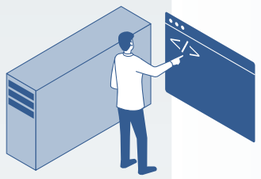
構成管理システムと連携

Git、Subversion と連携。
コミットや排他ロックなどの操作をツール上で完結できます。



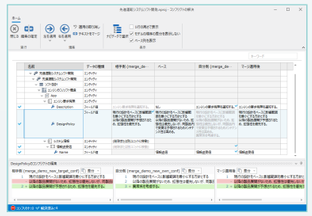
CLIによるCI/CD活用

Linuxでも動作するコマンドライン版 Next Design でプロセスの自動化を加速します。
独自の整合チェックや自動変換、エクスポートなどを自動化できます。



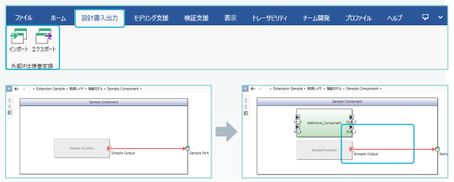
Gitを利用した分散開発を実現

独自のマージツールにより、設計モデルの部分的なマージが可能です。
コンフリクトが発生した場合は、UI上で確認しながら3-wayマージで解消できます。



エクステンションで機能拡張

独自の機能をプラグイン可能です。
UIのカスタマイズから外部ツールとの連携や
設計情報の一括検証までできることは様々です。



<例>

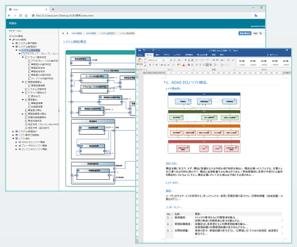
設計情報検証
・定義漏れや
　記述ルール違反のチェック
・I/F 未接続・不整合チェック

ツール連携
・既存資産からの移行支援
　（Excel シート・インポート）

今まで通りの文書で提供

設計情報を Word/HTML ドキュメントとして出力できます。
顧客への納入、委託先への文書提供には今まで通りの Word 形式を用いることができます。

下記の形式で出力できます。
・Word
・PDF
・HTML
・画像形式

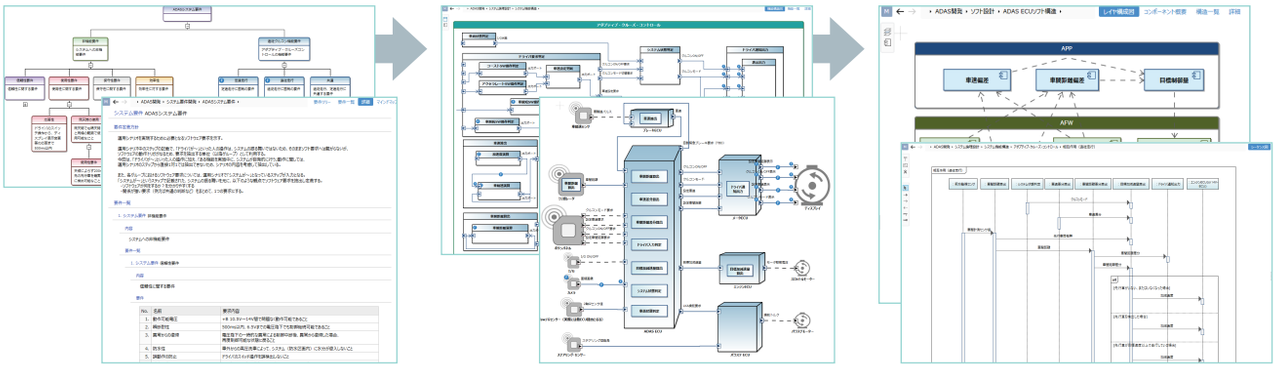


設計の分担

設計情報ファイルを分割して複数のチームで並行開発したり、別プロジェクトからの流用ができます。
指定した部分だけを読み込むこともできるので、大規模なプロジェクトでも軽快に設計を進められます。

トップダウン開発への適用例

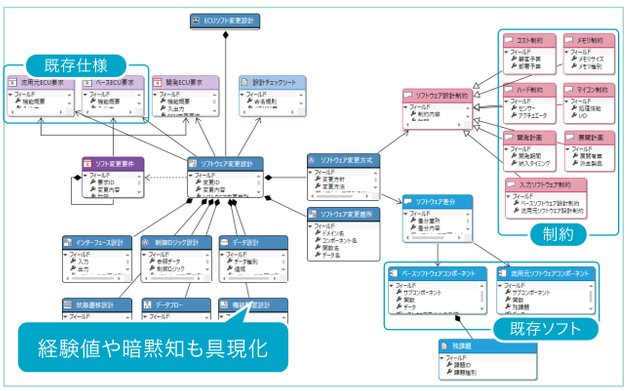
それぞれの工程の成果物とその関連をメタモデルとして定義し、適切なビューを割り当てることで、
工程を跨いでアクセシビリティの高い運用が可能です。



要件開発　　システム設計　　ソフトウェア設計

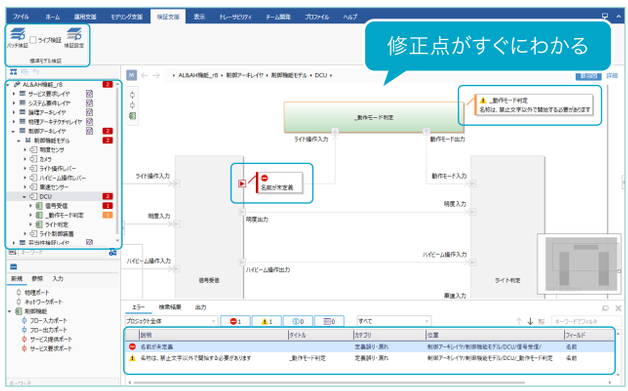
派生開発への適用事例

既存資産や固有のルールを活かして進めるボトムアップ開発にも適用できます。



既存資産や制約をメタモデル化

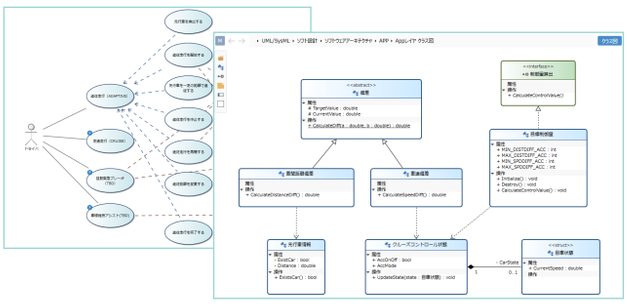
担当者の頭の中にしかない経験値や暗黙知をメタモデルとして具現化し、
組織の標準設計手法にできます。



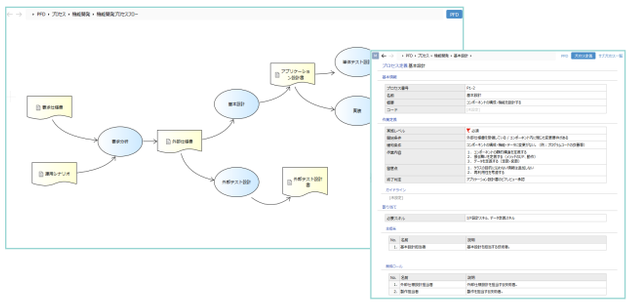
開発ルール違反チェックのプラグインを追加

製品固有の開発ルールへの違反チェック機能を追加し、
既存資産に潜在している不具合も検出できます。

その他の設計への適用事例



UML/SysML によるモデル表現



プロセス設計への応用例

工程間の関連と成果物の要素をメタモデルで定義することで、
プロセスの設計等にも応用ができます。

株式会社デンソークリエイト Next Design 営業窓口

詳細は営業窓口までお問合せください。 ndsales@denso-create.jp

製品サイト

https://www.nextdesign.app

株式会社デンソークリエイト

TimeTracker 営業チーム
〒460-0003 名古屋市中区錦 2 丁目 14 番 19 号 名古屋伏見 K スクエア
Email: ttsales@denso-create.jp

TimeTracker RX お申し込みはWebサイトへ

30日間無料体験版

すべての機能がご利用いただけます。製品サイトにてお申し込み受付中。
https://www.timetracker.jp/evaluation

記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
記載内容は予告なしに変更されることがあります。

www.timetracker.jp

TimeTracker RX

現場の改善活動を支援する、工数管理・プロジェクト管理ツール

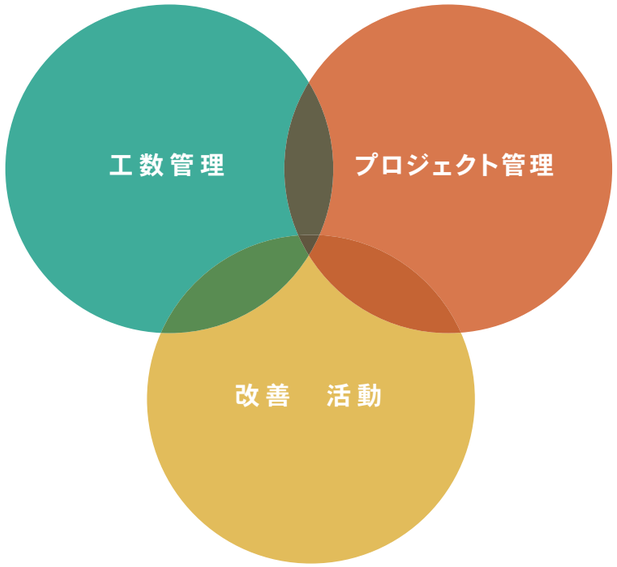
DENSO
Crafting the Core

現場の改善活動を支援する、工数管理・プロジェクト管理ツール。

TimeTracker RXは、ソフトウェア開発、ハード設計、営業、Web制作などの知識労働における工数管理・プロジェクト管理のためのツールです。工数やコスト、そして進捗状況を見える化し、改善活動を支援します。

TimeTracker RXは、デンソークリエイトのソフトウェア開発現場での長年の改善活動から生まれ、培われてきました。マネージャー、サブリーダー、メンバーなどの役割に応じて活用でき、プロジェクトの現場において大きな効果を発揮します。

WebアプリケーションとしてTimeTracker RXでは、リアルタイムの情報共有が可能。プロジェクトやチームでの業務可視化や改善が加速します。



簡単
直感的なインターフェースで、誰でも今すぐ始められる。

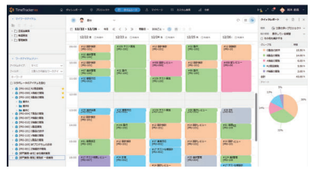
柔軟
現場に合わせて使えるから、全員が無理なく続けられる。

可視化
工数や進捗状況を視覚化することで、見えにくい現場の状況が見えてくる。

改善
問題の所在が明確になるから、事実に基づく改善活動が加速する。

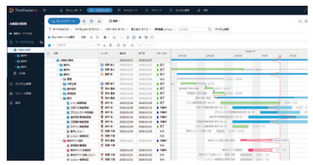
改善につながる「正確な事実を」計測・分析。現場志向の工数管理ツール。

TimeTracker RXは、プロジェクトや業務の改善に活用できる工数管理ツールです。直感的に使えるインターフェースだから、毎日たった1分の入力作業で、現場に負荷なく高精度の工数を計測し、分析することが可能。このデータの蓄積が、大切な資産となります。



現場の実情に合わせて使える柔軟性を備えたプロジェクト管理ツール。

TimeTracker RXでは、進捗と工数がそれぞれ現場に必要な粒度で管理できたり、大まかな計画から始めて段階的に詳細化したりといった、現場視点ならではの数々の機能を備えています。これまで使っていた帳票と手軽にデータ連携することも可能で、現場のためのプロジェクト管理を強力に支援します。



見えなかった事実に向き合える。改善の成果を味わえる、改善活動支援ツール。

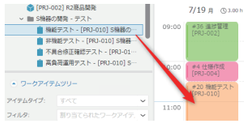
「実態がつかみにくい知識労働を、工数で見える化して改善活動の入力とする」という発想で、改善を支援します。過去のプロジェクトとの比較、仕事ぶりの変化、生産性などを数値で確認。改善効果も見えるから、現場が成長の喜びを味わうことができ、さらなる改善活動を加速します。

その日の工数を１分で入れられる直感的なインターフェース。

だから誰でも続けられる。

ドラッグ＆ドロップであっという間に入力

工数の入力は、ツリーから担当タスクをドラッグ&ドロップするだけ。マウス操作のみで簡単に入力でき、メンバーに負荷をかけません。



よく使うタスクは ショートカットで工数入力

毎日実施するタスクは、その都度ツリーから選択しなくても、ショートカットとして登録しておくことができます。細かい点にもこだわった操作性が、工数入力の定着につながります。

工数集計作業は一切不要

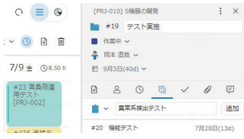
各メンバーが入力した工数は、自動的に集計されてプロジェクト画面上に表示されます。上位階層にも自動的に積み上げ計算されるので、案件別やプロジェクト全体の工数も手間なく確認できます。

自分の時間の使い方を振り返る

入力した工数は、さまざまな視点で自動集計。リアルタイムでグラフ化されます。自分の仕事ぶりを毎日客観的に振り返ることで、事実が見えてきます。

タスクはシンプルに、工数は細かく分析

例えば、同じ「設計」タスクに使った工数でも、「レビュー」「手戻り」などの作業分類を区別して記録。シンプルなタスク構成のまま、工数は詳細に見える化できます。



タスクのスケジュール更新や追加もシームレスに

工数入力画面上で、タスクのスケジュールやステータス更新、さらにタスク追加も操作可能。工数管理とプロジェクト管理をつなぐシームレスなしくみで、画面を切り替えるストレスから解放されます。

Outlook (Microsoft365) や Google カレンダーの予定をインポート

TimeTracker RXなら、Outlookなどのスケジューラーで管理している会議などの予定情報もワンクリックでインポート。会議が多い場合でも、工数入力に余計な手間がかかりません。

工数データ CSV/Excel 形式で エクスポート

実績工数のデータは、CSVやExcelファイルとして出力可能。Excel帳票や他システムと連携したデータの活用にも対応します。

メンバーが毎日無理なく
工数を入力できる「タイムシート」

現場の「思い」を支援する TimeTracker RX の特徴

01 入力負荷を軽減する使いやすいインターフェース

工数入力は、ドラッグ&ドロップするだけの簡単操作。誰でもすぐに始められます。入力を支援するショートカットや予定インポートなど、毎日の入力が快適になる機能を多数搭載。直感的に使えるから、全員が無理なく続けられます。

02 改善につながる「正確な事実」を計測・見える化

TimeTracker RXは、正確な工数をもとにプロジェクトや業務を改善するという目的から生まれたツールです。最小5分単位の工数管理やシームレスに使えるレポート機能により、高精度な工数を計測し分析することができます。このことが、生産性の向上や品質改善につながります。

03 工数管理とプロジェクト管理をあわせ持つという発想

プロジェクト管理機能にも長けたTimeTracker RXなら、プロジェクトのスケジュール変更やタスク追加も、同一画面上でシームレスに操作可能。
単なる工数計測にとどまらない現場の改善活動をサポートします。

工数管理でよくあるお悩み

- Excel や他ツールでは使い勝手が悪くて挫折
- 正確な工数データが集まらない
- 集計や分析が手間で改善活動につながらない

現場の実情に合わせられる柔軟性と表現力。

今までの仕事のやり方を変えず、すぐに始められます。

手書き感覚で直感的にスケジューリング

スケジュールは線表（ガントチャート）で視覚的に管理。期間の設定は、マウスでドラッグするだけの簡単操作。ストレスなく、意図通りの計画がさくさく画面上で表現できます。

シンプルに始めて 必要なだけ詳細化

プロジェクト立ち上げ時に詳細な計画を立案することは難しいものです。TimeTracker RXなら、大まかな計画から始めて段階的に詳細化していくことができます。より現実的で効率的な運用が実現できます。

現場志向のスケジューリングを支援

各タスクのスケジュールの前後関係を表すリンクの設定、納期から逆算して計画するバックワードスケジューリング、納期の固定など、現場の実情に合わせた計画を支援します。

ステータスを定義して 具体的に進捗管理

進捗状況において進捗率は重要な指標です。ただ、数字だけでは具体的な状況が見えません。ステータスを設定することで、進捗状況が明確になります。完了までのステップを定義するだけなので、進捗管理が分かりやすくシンプルなものになります。

見積もりの根拠となる 高精度のコスト管理

TimeTracker RXなら、収集した高精度の工数データで詳細タスクごとにコストを自動計算。プロジェクトのコスト管理やコスト超過の原因分析に活用できます。勘や経験に頼りがちな見積もりも、実績コストの活用により精度向上が期待できます。

カンバンで手軽にアイテム管理

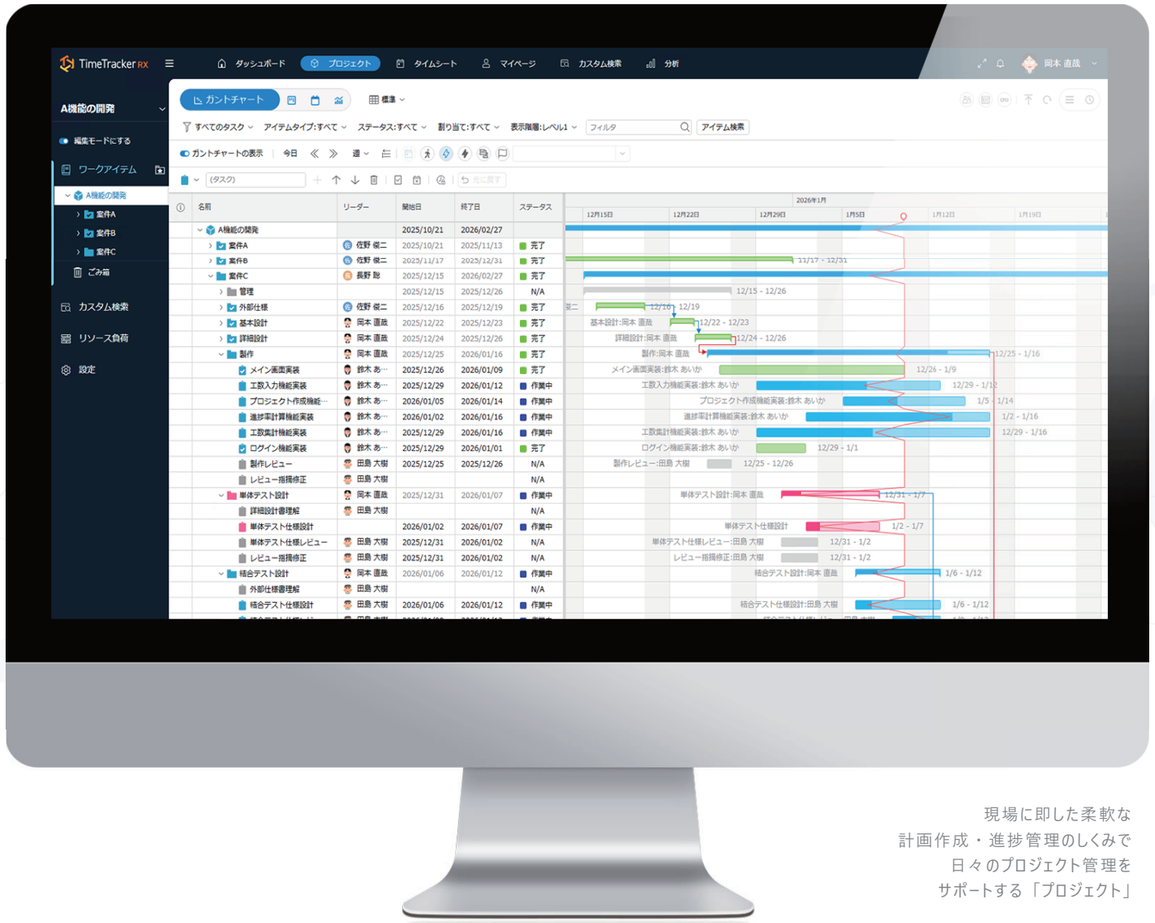
プロジェクトのアイテムをカードで表示することで、チームのメンバー全員でアイテムとその状態を一目で共有できます。

プロジェクトを リアルタイムに共同編集

TimeTracker RXでは、他のメンバーの編集状態を気にすることなく、同時にプロジェクトを編集することができます。そして変更した内容は、各自のプロジェクト画面上に即座に反映。プロジェクト内のスムーズなコラボレーションを促進します。

コスト単価・所属組織の履歴管理で 高精度のデータ集計

プロジェクトの途中でメンバーの単価が変わったり、組織間の異動があった場合でも安心です。TimeTracker RXなら、単価や所属組織の履歴も管理できるので、その時点の単価や組織に基づいた集計が可能です。現実に即したデータ集計を支援します。



現場に即した柔軟な
計画作成・進捗管理のしくみで
日々のプロジェクト管理を
サポートする「プロジェクト」

現場志向の管理機能を備えた TimeTracker RX の特徴

01 現場でのこれまでの工夫を活かしてすぐに始められる

現場で安心して使えるよう、簡単に使い始められ、そして使い続けられることにTimeTracker RXはこだわっています。例えば、Excelとの連携。現場で培ってきたやり方や工夫が詰まった帳票と連携し、スムーズにツールの移行や共存が実現できます。

02 現場が求める柔軟な計画作成を実現

実際のプロジェクトでは、まずは大まかに計画を立てて段階的に詳細化するということも多いでしょう。
TimeTracker RXなら、段階的に必要なタイミングで必要な粒度にプロジェクト内の作業を詳細化することができ、現場の進め方に合わせて柔軟に使えます。

03 工数管理と高度に融合、プロジェクトの状況を可視化

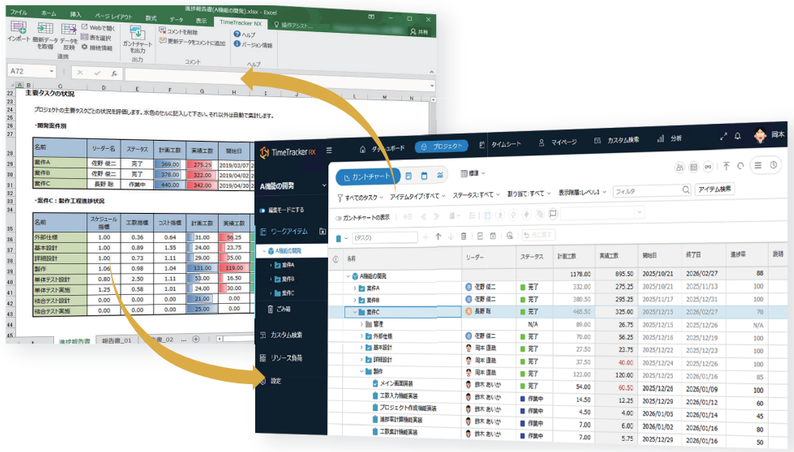
「タイムシート」で各メンバーが入力した工数は、プロジェクト画面上に即座に反映されます。工数やコストの状況をリアルタイムで把握するとともに、進捗状況もガントチャートのイナズマ線で一目瞭然。工数管理とプロジェクト管理が高度に融合し、プロジェクト全体の可視化を促進します。

プロジェクト管理で よくあるお悩み

- Excelでは度重なる計画変更が大変
- 管理ツールの機能に合わせなければならず使いにくい
- 進捗状況の定量化や見える化が難しい
- プロジェクト管理と工数管理を一元化したい

普段の帳票が、あっという間に定量的な報告書に変わります。

Excel 帳票と双方向にデータ連携。



進捗などの報告書をExcelで作成していませんか？せっかくプロジェクト管理ツールなどで定量的なデータを集めても、そのデータをExcelの報告書に転記するのは非常に手間です。TimeTracker RXの「Excel連携アドイン」なら、現在お使いの帳票とボタン1つで簡単にデータ連携。マクロなどの専門知識も不要なので、誰でも手軽に始められます。

こんなお悩みを解決します

- データを手作業で転記するのが面倒
- 毎週の報告書作成に時間がかかる
- 定量的な報告を効率的に実施したい

工夫していた帳票をそのまま使える手軽さ

Excelに追加されるツールバーのボタンをクリックするだけで、Excelで選択した表を自動認識。TimeTracker RXで集めた工数やプロジェクトの進捗状況などのデータを、マウス操作だけで簡単に帳票に取り込めます。

Excel の報告書から TimeTracker RX に データを反映

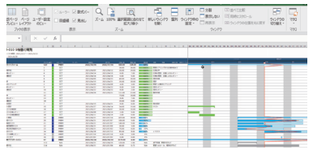
Excelの報告書を直接編集した場合でも、TimeTracker RXへの転記作業は必要ありません。例えば、委託先から提出された進捗報告書の内容を、ボタン1つでTimeTracker RXに反映。データをTimeTracker RXに集約し、より効率的に管理できます。

対応付けあり:7列、対応付けなし:3列

列見出し	フィールド
名前	名前 (Name)
リーダー名	(なし)
ステータス	ステータス (StatusTypeId)
計画工数	計画工数 (PlannedTime)
実績工数	(なし)

ガントチャートも出力

ガントチャートをExcelにそのまま出力できるため、TimeTracker RXを利用していない方々とも簡単に情報を共有できます。



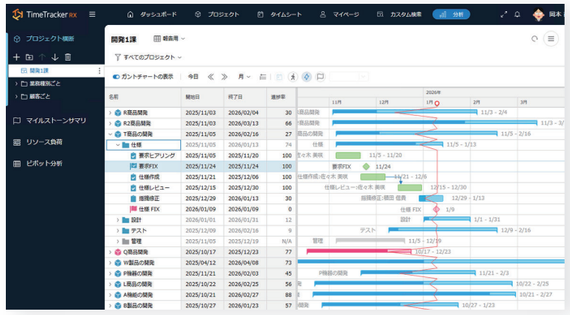
問題を早期に検出し、対処できます。

組織や複数プロジェクトの状況を瞬時に把握。

管理するプロジェクトが多くなると、進捗の確認だけでも時間がかかります。その結果、問題の発見が遅れ、対応が手遅れになることも。TimeTracker RXを使えば、遅れの傾向が出ているプロジェクトがすばやく発見できるだけでなく、メンバーの負荷や今後の業務量を横断的に確認して人員の調整を行うなどの適切な対応も可能になります。

こんなお悩みを解決します

- 複数プロジェクトの進捗確認が大変
- 要注意のプロジェクトをすぐに知りたい
- メンバーの負荷調整をタイムリーに行いたい
- プロジェクト横断で各メンバーの進捗状況を手軽に確認したい



プロジェクトの進捗状況を横断管理

TimeTracker RXでは、複数のプロジェクトのガントチャートを並べて表示できます。
現在稼働中のプロジェクトの進捗状況も、イナズマ線なら一目瞭然。
あわせて工数やコストの情報も詳細レベルで確認でき、プロジェクトの横断管理がスムーズになります。

メンバーの負荷状況を一覧化

複数のプロジェクトを兼務するメンバーというのは珍しいことではありません。
そのような場合、それぞれのプロジェクトでどれだけ工数を確保できるかというのは悩ましいところです。
実際の負荷も考慮する必要があります。TimeTracker RXのリソース負荷画面では、各メンバーの計画工数と実績工数が一覧で確認できます。プロジェクトごとの内訳表示も可能で、負荷調整に活用できます。

毎日手軽にモニタリング

メンバーやプロジェクトの状況は、管理者が１つ１つ画面を開いて確認する必要はありません。TimeTracker RXの画面を開くだけで、メンバーの工数状況や、プロジェクトの進捗状況がグラフで確認できます。

プロジェクト横断で各メンバーの担当タスクを確認

複数のプロジェクトが同時に進行している場合、どこから手を付けていくか、どのタスクを優先すべきかはプロジェクト単体では判断できません。TimeTracker RXでは、自分やメンバーごとの担当タスクについて、プロジェクト横断で進捗情報とともに一覧表示することができます。期日や遅れの順に並んでいるので、優先度をすばやく確認し仕事が進められます。

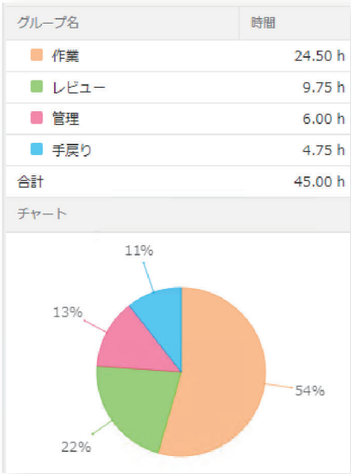
自在な分析機能で、改善が加速します。

個人でも、プロジェクト横断でも、すばやく見える化。

こんなお悩みを解決します

- データの集計が面倒で時間がかかっている
- 忙しい中でも業務を見える化したい
- 集計した工数をさまざまな角度から分析したい

せっかく集めた工数データも、そのままでは改善につながりません。
しかし、分析のためにデータを毎回Excelに出力するのは面倒なもの。
TimeTracker RXでは、ドラッグ&ドロップの直感的な操作と多彩な分析軸で、工数のリアルタイム分析と見える化が可能です。



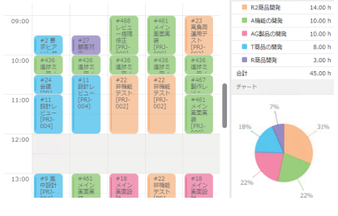
リアルタイムに工数をグラフ化する
「クイックレポート」

プロジェクト	レビュー	作業	修正	手戻り	管理	実績工数(h)
B製品の開発	16.50	83.50	0.00	23.50	2.50	**126.00**
L商品の開発	81.00	757.50	0.00	0.00	0.00	**838.50**
R商品開発	40.50	345.50	0.00	83.00	6.00	**475.00**
S機器の開発	18.00	76.00	0.00	7.00	0.00	**101.00**
T商品の開発	16.50	68.50	0.00	27.50	0.50	**113.00**
総計	**172.50**	**1331.00**	**0.00**	**141.00**	**9.00**	**1653.50**

プロジェクト横断で多彩な分析が可能な
「ピボット分析」

自分の仕事を振り返り

「工数の多いプロジェクト」などのレポートを選択するだけで、簡単に自分の仕事ぶりを視覚化。
何にどれだけの時間を使っているか、実績の色分けとグラフにより一目で把握できます。
無駄な時間を洗い出すことで、改善につなげられます。



ドラッグ & ドロップで工数・コストを自在に集計

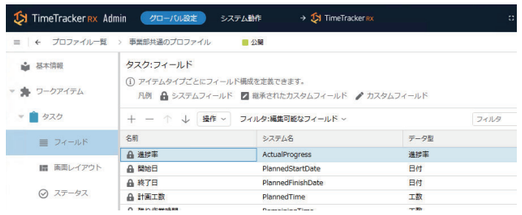
TimeTracker RXのピボット分析があれば、もうExcelでの分析は不要です。工数やコストデータの集計軸は、ドラッグ操作で自由自在に入れ替え。見たい情報がすぐに確認できます。プロジェクト別、メンバー別、組織別、月別などあらゆる角度から計画と実績のデータが分析できます。

プロジェクト	総計	
	計画コスト	実績コスト
A機能の開発	¥ 2,781,667	¥ 2,974,250
B製品の開発	¥ 2,375,500	¥ 566,000
L商品の開発	¥ 1,646,400	¥ 1,960,000
O製品の試作	¥ 468,625	¥ 838,000
P機器の開発	¥ 1,056,000	¥ 695,000

さまざまなシステム設定も、Webの画面で一元管理。

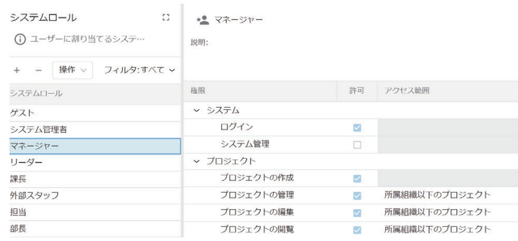
プロジェクトの各種設定を一括適用

タスクのステータス定義や管理フィールドは、プロジェクトごとにカスタマイズして使うと便利ですが、一つ一つ設定するのは煩わしいものです。TimeTracker RXでは、各種設定を「プロファイル」としてシステム単位でまとめて定義しておけば、プロジェクトの新規作成時に繰り返し適用できます。プロジェクトをスムーズに立ち上げることができます。



アクセス制御で、セキュリティも安心

プロジェクトで扱うデータには、関係者外秘のものや他部署には開示できないものが多くあります。TimeTracker RXでは、そのようなセキュリティにも配慮。使用可能な機能とアクセス可能なデータ範囲が細かく設定できるので、安心してご運用いただけます。



他にもさまざまな機能を搭載、幅広いニーズに対応

- Active Directory連携で、Windowsのログオンパスワードを適用可
- 1つのサーバーで3000人規模までの運用に対応
- 利用可能なタスクの属性(フィールド)をシステム単位でカスタマイズ
- タスクのステータスを独自に定義し、プロジェクトに適用
- ExcelやCSV形式で実績工数データをエクスポート

Edition

利用目的に応じて選べる2つのエディション。

Standard Edition

**工数入力による業務の見える化を中心に
基本的なプロジェクト管理機能も搭載。
工数管理・プロジェクト管理が手軽に始められます。**

こんなお客様に

- 工数を手軽に入力し、管理したい
- 作業単位の工数を把握したい
- 進捗管理をこれから始めたい
- ガントチャートを使って作業のスケジュールを管理したい

Professional Edition

**工数管理機能に加え、
本格的なプロジェクト管理や
データ分析にも対応。**

こんなお客様に

- 工数管理だけでなく、プロジェクト管理もしっかり行いたい
- 作業内容に応じて、進捗状況をきちんと管理したい
- メンバーの負荷状況を見える化したい
- 工数データをいろいろな面から分析したい
- 既存のExcel帳票を活かしながらプロジェクトを管理したい